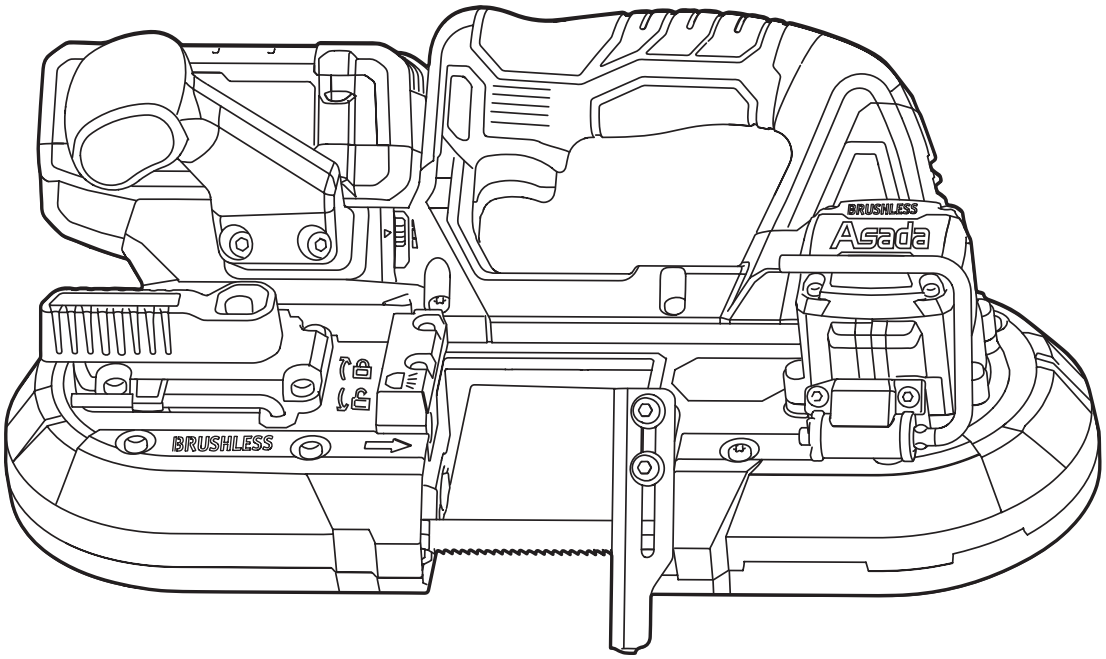
Asada

環境を守る親切ツール

充電式バンドソー H65

取扱説明書



【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

充電式バンドソー H65

安全にご使用いただくために

このたびは、充電式バンドソー H65 をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を使用用途以外の目的で使わないでください。
  - ・ 鋼管などの切断
  - ・ 電線などの切断
  - ・ L 型鋼などの鋼材の切断
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
  - ・ ご注文の商品の仕様と違いはないか。
  - ・ 輸送中の事故等で破損・変形していないか。
  - ・ 付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
（本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。）

警告表示の分類

本書に使用している警告表示は、次の２つのレベルに分類されます。

⚠ 警告　本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。

⚠ 注意　本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。
または、本機に損傷をもたらす状態。

目　次

安全上のご注意 2
充電式バンドソー安全上のご注意 6
製品の構成 7
　各部の名称 7
　仕様 8
　標準付属品 8
　別販売品 8
準備 9
　バッテリの取付け・取外し 9
　バッテリの残量表示 9
　充電方法 10
　バッテリについての注意事項 11
　のこ刃の取付け・取外し 11
　のこ刃の取付け手順 12
使用方法 13
　切断前準備 13
　切断作業 14
保守・点検 16
　LED および保護機能 16
　日常点検 16
　プーリゴムの交換 16
修理・サービスを依頼される前に 18

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警告

◆ 専用の充電器やバッテリを使用してください。

・指定以外の充電器でバッテリを充電しないでください。
・指定したバッテリ以外は充電しないでください。

◆ 正しく充電してください。

・この充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類や直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
・周囲温度が 0 ℃未満、または周囲温度が 50 ℃以上ではバッテリを充電しないでください。
・バッテリは、換気の良い場所で充電してください。バッテリや充電器を、充電中に布などで覆わないでください。
・使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

◆ バッテリの端子間を短絡させないでください。

・バッテリを金属と一緒に、工具箱や釘袋などに保管しないでください。

◆ 感電に注意してください。

・ぬれた手で電源プラグやバッテリに触れないでください。

◆ 作業場の周囲状況も考慮してください。

・充電工具、充電器、バッテリは、雨中、湿った又は、ぬれた場所で使用しないでください。
・作業場は十分に明るくしてください。
・可燃性の液体やガスのある所で使用、充電しないでください。

◆ 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。

・特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、十分に注意してください。

◆ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業を含む）で使用しないでください。

・アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

◆ 保護めがねを使用してください。

・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

◆ 防音用保護具を着用してください。

・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。

充電式バンドソー H65

⚠ 警 告

◆ **材料の切断作業時は、材料をしっかりと固定してください。**
・材料を固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

◆ **次の場合は、充電工具のスイッチを切り、バッテリを本機から抜いてください。**
・使用しない。または、お手入れする場合。
・刃物などの付属品を交換する場合。
・その他危険が予想される場合。

◆ **不意な始動は避けてください。**
・スイッチに指を掛けて運ばないでください。
・バッテリをさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

◆ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
・この取扱説明書、及び当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは、使用しないでください。

◆ **充電器で使用する延長コードは、２．０mm^2・長さ３０ｍまでで使用してください。**
・充電器用に延長コードが必要な場合は、充電器を最高の能率で支障なく使用していただくため、十分な太さの延長コードをできるだけ短く使用してください。

◆ **バッテリを火中に投入しないでください。**
◆ **バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてくださ**
◆ **使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。**

◆ **使用済みのバッテリを一般家庭ゴミとして棄て捨てないでください。**
・棄てられたバッテリが、ゴミ収集車内等で破壊されて発火・発煙の原因となる場合があります。

⚠ 警 告（騒音防止規制）

◆ **騒音防止規制について**
・騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例等で定められた各種規制があります。
・本機は、切断時に切断音を発しますので、周辺への騒音に十分注意して使用してください。

⚠ 警 告（修理・整備に関して）

◆ **アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業を含む）で使用しないでください。**
使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。

⚠ 注 意

◆ 作業場は、いつもきれいに保ってください。
・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

◆ 子供を近づけないでください。
・作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
・作業者以外、作業場へ近づけないでください。

◆ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
・充電工具やバッテリを、温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

◆ 無理して使用しないでください。
・安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
・モータがロックするような無理な使い方はしないでください。

◆ きちんとした服装で作業してください。
・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

◆ 充電工具は、注意深く手入れをしてください。
・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
・付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

◆ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。
・コードを熱、油、薬品、角のとがった所に近づけないでください。
・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

◆ 無理な姿勢で作業をしないでください。
・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

◆ 使用済みのバッテリを一般家庭ゴミとして棄て捨てないでください。
・棄てられたバッテリが、ゴミ収集車内等で破壊されて発火・発煙の原因となる場合があります。

充電式バンドソー H65

⚠ 注 意

◆ **調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。**

・スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

◆ **油断しないで十分注意して作業を行ってください。**

・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
・疲れている場合は、使用しないでください。

◆ **損傷した部品がないか点検してください。**

・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・可動部分の位置調整、及び締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・スイッチで始動、及び停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。

◆ **充電工具の修理は、専門店にお申し付けください。**

・充電工具、充電器、バッテリを分解、修理、改造しないでください。
・充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は、点検・修理に出してください。
・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

◆ **この取扱説明書は、大切に保管してください。**

充電式バンドソー安全上のご注意

● 先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式バンドソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

◆ **使用電源は、銘板に表示してある電圧で充電してください。**
・表示を超える電圧で充電すると、発煙、発火、爆発等の原因になります。

◆ **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの既設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
・既設物があるとのこ刃が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

◆ **保護カバーは、必ず取り付けて使用してください。**
・保護カバーをはずした状態で使用すると、事故やケガの原因になります。

◆ **使用中は、本機を確実に保持してください。**
・確実に保持していないと、けがの原因になります。

◆ **使用中、本機の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。**
・そのまま使用していると、けがの原因になります。

◆ **モータが過負荷等で停止した場合は、必ずスイッチを OFF にしてください。**
・モータの発熱、発煙、発火の恐れがあるほか、ケガの原因にもなります。

◆ **誤って落としたり、ぶつけたときは、のこ刃や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

◆ **バッテリは発煙、発火、破裂の恐れがあります。次のようなことをしないでください。**
・端子に金属類を接触させないでください。
・釘や硬貨などが入った袋や箱の中にいれないでください。
・雨や水にぬらさないでください。

◆ **ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。　爆発や火災の恐れがあります。**

◆ **火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。**
・ダンボール等の紙類、座布団等の布類、畳、カーペット、ビニール等の上では充電しないでください。
・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物を差し込まないでください。
・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

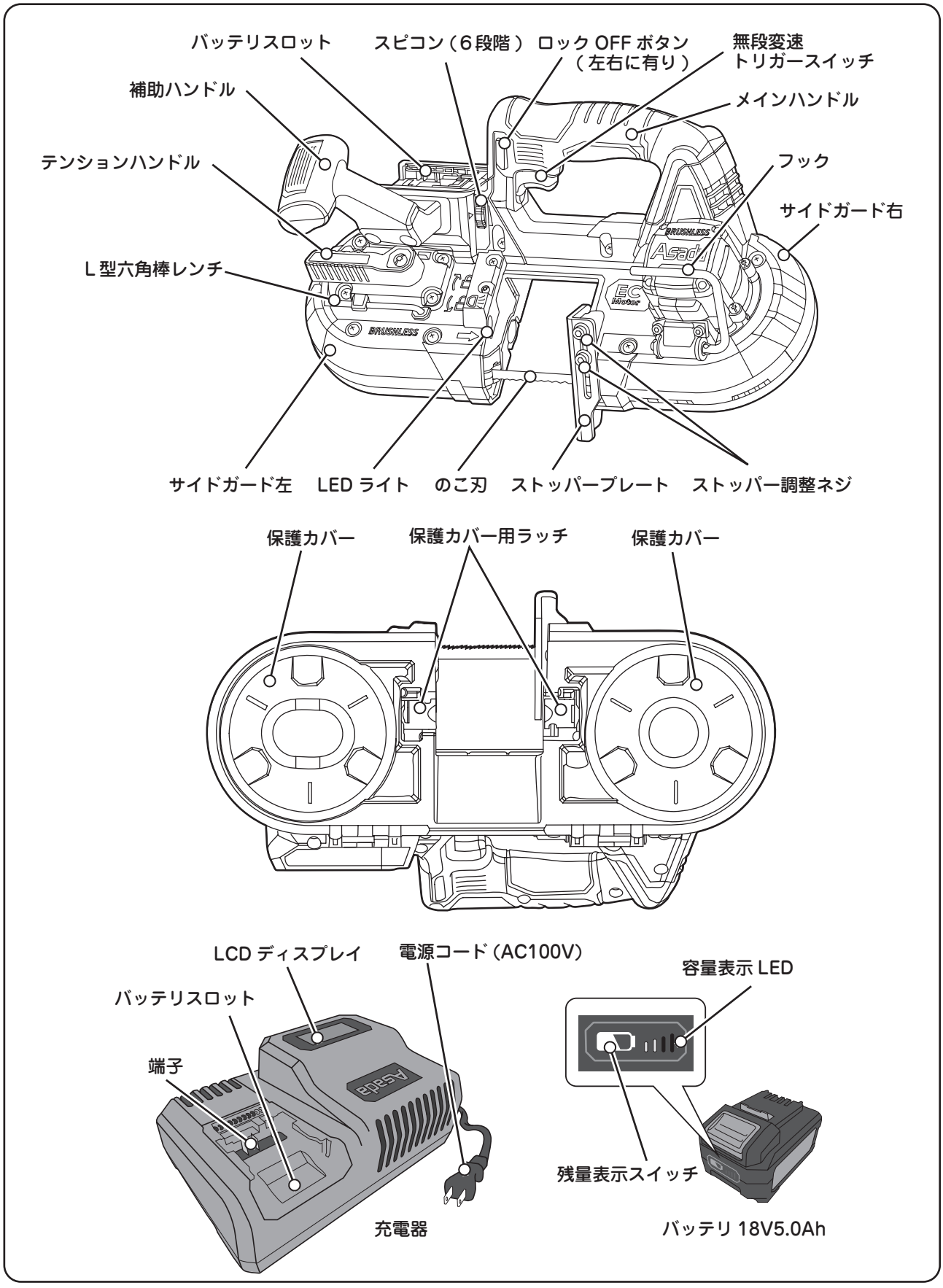
◆ **充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。**

◆ **充電器は充電以外の用途には使用しないでください。**

充電式バンドソー H65

製品の構成

各部の名称



仕　様

充電式バンドソーＨ６５本体　仕様		
品　　名		充電式バンドソーＨ６５
コード番号		BH065
最大切断能力	丸パイプ	φ 63.5mm
	角パイプ	63.5mm × 63.5mm
のこ刃周速		～ 192m/min
モ　ー　タ		DC ブラシレスモータ
バッテリ（電圧）		18V 5.0Ah
推奨使用温度　／　保管温度		-10 ～ 40℃　／　～ 50℃
大　き　さ　／　質　量		L384 × W200 × H193mm　／　本機：3.3kg・バッテリ：0.7kg

充電器　仕様	
品　　名	充電器 100V H65 用
コード番号	BH200
充 電 時 間	50 分
入 力 電 圧	AC100 ～ 120V
入力周波数	(50/60Hz)
入 力 容 量	190VA
充 電 電 圧	10.8 ～ 18V
充 電 電 流	9.0A
推奨充電温度	4 ～ 40℃
質　　量	0.9kg（バッテリなし）

標準付属品

品名	コード No.	数　量	備　考
のこ刃 ハイス 14/18 山 (※)	71169	1 本	＜適用切断材＞ 鋼管、ステンレス管、鋼材、電線ケーブル
バッテリ 18V5.0Ah H65 用	BH202	1	―
充電器 100V H65 用	BH200	1	AC100 ～ 120V（50/60Hz）
収納ケース組 H65 用	BH203	1	―
取扱説明書	IM0635	1	―
ご使用上の注意	IM0645	1	―

※ 被切断材の肉厚内に 2 山（2P）以上かかっていないと、切断面にバリが発生することがあります。

別販売品

品名	コード No.	数　量	備　考
のこ刃 ハイス 14/18 山 (※)	71169	3	のこ刃は、1 箱 3 本入り単位の販売です。
充電器 220V H65 用	BH201	1	AC220 ～ 240V（50/60Hz）
バッテリ 18V5.0Ah H65 用	BH202	1	―
取扱説明書 英文	IM0636	1	―
ご使用上の注意 英文	IM0646	1	―

充電式バンドソー H65

準　備

バッテリの取付け・取外し

⚠ 警 告

◆ バッテリは確実に差し込んでください。
差し込みが不十分ですと、外れて事故の原因となります。

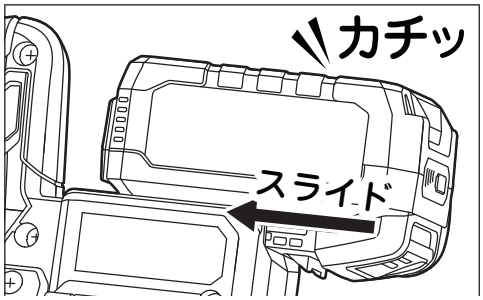
⚠ 注 意

◆ お買い上げ時、バッテリは十分に充電されていません。（スイッチを操作すると本機が動く恐れがありますので、注意してください。）
ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

＜バッテリの取付け＞

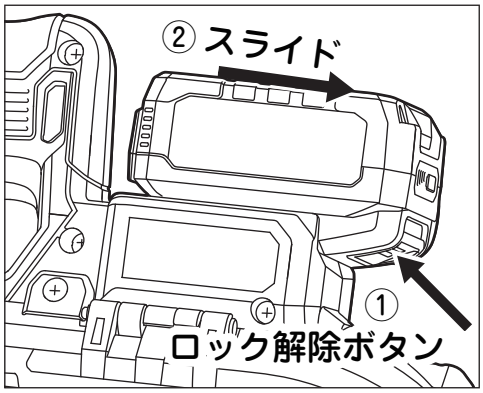
① 取り付ける時は、バッテリを「カチッ」と音がするまで挿入してください。

※注意　トリガースイッチを引いたままバッテリを挿入すると、保護機能により、LED ライトが低速点滅して起動しなくなります。　解除は、トリガースイッチを離して再度バッテリを挿入し直します。



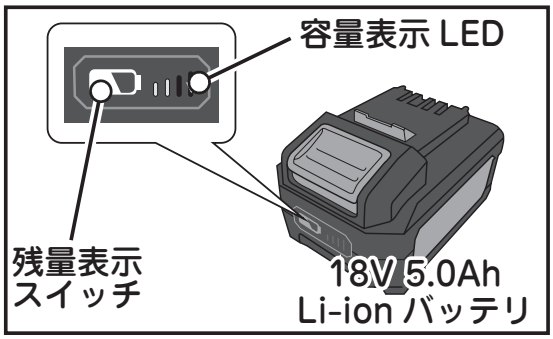
＜バッテリの取外し＞

① バッテリのロック解除ボタンを押し付けながら、バッテリをバッテリスロットからスライドさせると取り外すことができます。



バッテリの残量表示

① バッテリの残量表示スイッチを押すことにより、バッテリ残量が LED で表示されます。
② 表示は約 5 秒間 LED 点灯したのち、自動的に消灯します。

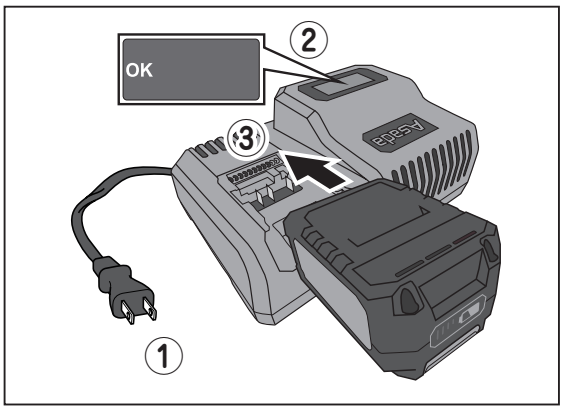


バッテリ表示ランプ ■：点灯　◪：点滅　□：消灯	バッテリ残容量
■■■■ ← 4 個点灯	75～100％
■■■□ ← 3 個点灯	50～75％
■■□□ ← 2 個点灯	25～50％
■□□□ ← 1 個点灯	0～25％
◪□□□ ← 1 個点滅	充電してください

⚠ 注 意

◆ バッテリ残量が容量 10% 以下になると、容量表示ランプが点灯しなくなる場合があります。
この現象はバッテリの特性によるもので、故障ではありません。
容量が増えてくると点灯します。
◆ 容量表示ランプが点灯しない状態で充電する場合、通常の充電時間よりも長くなります。
この現象はバッテリの特性によるもので、故障ではありません。
◆ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などにより実際の残容量と異なる場合があります。

充電方法

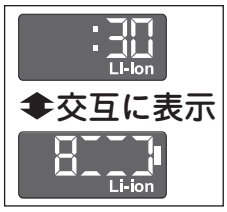


① 充電器の電源プラグを交流 100V の電源コンセントに差込んでください。

② 充電器の LCD のバックライトが 2 秒間点灯し、その後「OK」が表示されていることを確認してください。

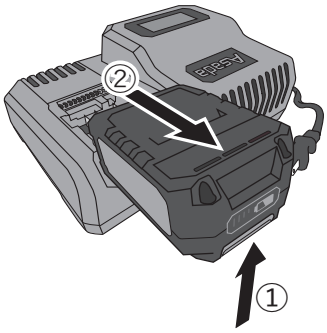
③ バッテリを充電器へ差込んでください。

④ バッテリを充電器へ差込むと LCD 表示が充電状況によって表示されます。



⑤ LCD には、充電状況によって満充填までの残り時間と、現時点での充電状況が分かるグラフィック表示が交互に表示されます。
※ バッテリの充電量が８０％未満の場合は、LCD はオレンジ色に点灯します。
※ バッテリの充電量が８０％以上になると、LCD は緑色に点灯し「OK」が表示されます。

⑥ 満充電になると、LCD は OK 8888 と表示され、緑色のバックライトはしばらくすると消灯します。



⑦ バッテリを取外します。

⚠充電時の LCD 表示注意事項

● バッテリを充電器に差し込んだ際にＬＣＤが点滅する場合は、バッテリが消耗しているか、バッテリ・充電器が故障しています。

Ⓐ LCD がオレンジ色に点灯し Li-ion 表示がゆっくり点滅する。
└► バッテリが熱すぎる。もしくは、冷たすぎる。
バッテリが充電温度 (0° C-55° C) になると、自動的に充電が開始されます。

Ⓑ X 8888 ディスプレイが急速に点滅する。もしくは、バックライトが赤く点灯する。
└► バッテリを充電器から取り出し再度挿入しても表示が変わらない場合は、バッテリが不良です。
バッテリを交換します。

└► バッテリを交換しても表示が変わらない場合は、充電器の不良が考えられるため、弊社営業窓口または、お買い上げの販売店にご相談ください。

充電式バンドソー H65

バッテリについての注意事項

⚠ バッテリの長持ちさせるためには

- バンドソーの切断力が弱くなってきたと感じたら、使用を止めて充電してください。
- 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度 0℃～ 55℃の範囲で行ってください。

⚠ バッテリの廃棄・リサイクルについて

- 使用済みのバッテリは、リサイクルする必要があります。
- 必ずリサイクルマークのあるホームセンターなどへ出し、絶対に廃棄したり家庭ごみに出すことはしないでください。

のこ刃の取付け・取外し

⚠ 警 告

◆ **のこ刃の交換時は、<u>必ずバッテリを外してください。</u>**急に作動して、事故やけがの原因となります。
◆ **のこ刃の取付け・取外し時は、<u>必ず手袋を着用してください。</u>** のこ刃でケガの原因となります。

① バッテリを取外します。

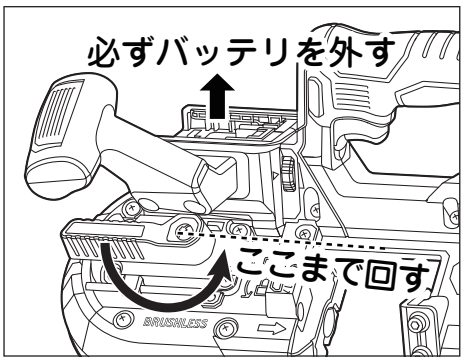
② テンションハンドルを矢印方向（左回転方向）一杯まで回し、のこ刃のテンションを緩めます。

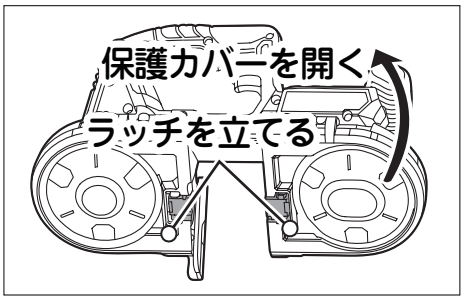
③ 2 カ所の保護カバー用ラッチを立てて、保護カバーを開きます。

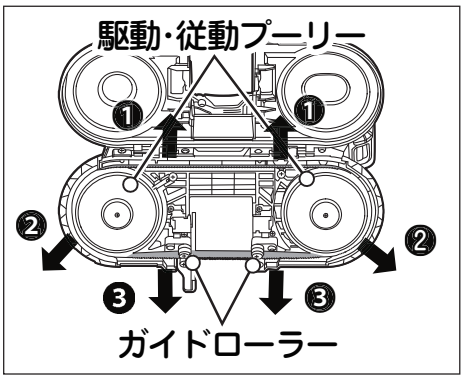
⚠ 注 意

◆ **保護カバーを開く時は、のこ刃の飛び出しに注意してください。**
◆ **特に切れたのこ刃を取外す際は、のこ刃が勢いよく飛び出す場合がありますので、充分に注意してください。**

④ 右図のように❶ ❷ ❸の順にのこ刃を外します。







のこ刃の取付け手順

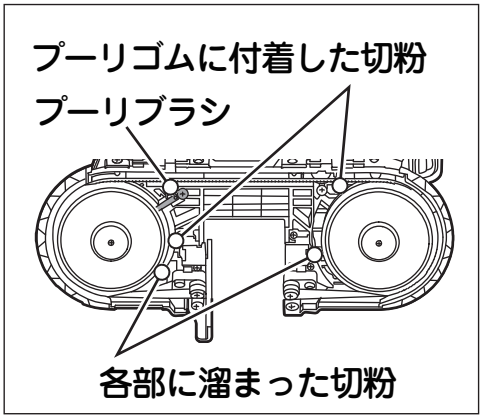
のこ刃を取付ける場合は、のこ刃の取り外しと逆の手順で取り付けてください。

⚠ 注 意

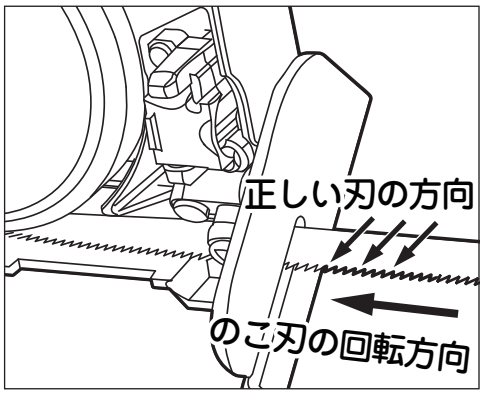
◆ **のこ刃に付着している油や汚れを完全にふき取ってから取付けてください。**
・のこ刃のスリップや外れの原因になります。

◆ **のこ刃を取付ける前に、プーリゴムに付着している切粉をきれいに拭き取り、プーリブラシの切粉も除去してください。**

◆ **プーリゴムの磨耗や損傷が激しいときには、プーリゴムを交換してください。**
・プーリゴムが磨耗・損傷していると、のこ刃のすべりが発生して切断できません。
（コード No.BH221　プーリゴム）

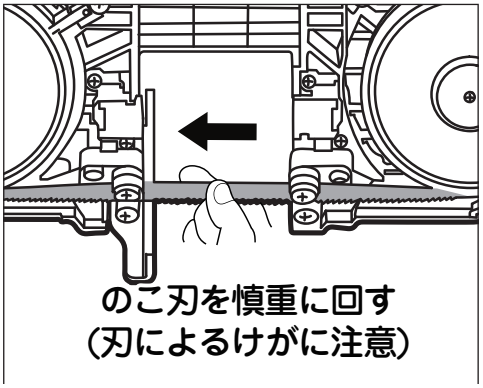


◆ **のこ刃を取付ける前に、各部に切粉がたまっていないか確認し、たまっている場合はきれいに取除いてください。**
・切粉がたまると、ギヤが磨耗・ロックして破損する恐れがあります。



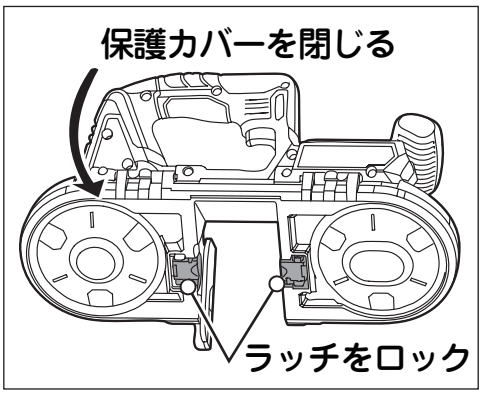
◆ **のこ刃の刃の方向が正しいことを切断前に確認してください。**

◆ **のこ刃を取り付けた後は、のこ刃を順送りして正しく取付けられていることを確認してください。**
・正しく取付けずに始動させると、のこ刃が外れたり破損する恐れがあります。



◆ **のこ刃を順送りする際は、手袋等を使用してのこ刃の刃部によってケガをしないよう、注意してください。**

◆ **のこ刃を正しく機械にセットしたら、必ず保護カバーを閉め、使用中不用意に保護カバーが開かないよう、保護カバー用ラッチをロックしてください。**
・のこ刃が切れたり、外れた時に事故やけがの原因になります。



充電式バンドソー H65

使用方法

切断前準備

⚠ 警 告

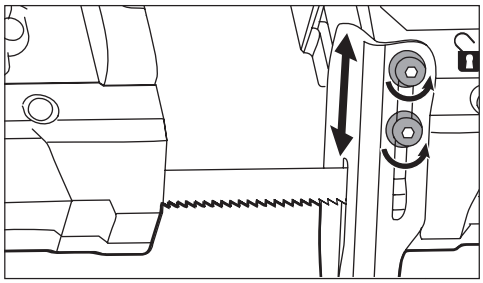
◆ 本機にバッテリを差し込む際は、絶対にスイッチ部に指をかけないこと。
スイッチを入れた状態でバッテリを差し込むと、急に回り出す危険性があります。

＜ストッパープレートの調整＞

① 本機に附属のＬ型六角棒レンチで、2 カ所のねじを緩めます。

② ストッパープレートを切断する材料に合わせて、希望の位置に動かします。

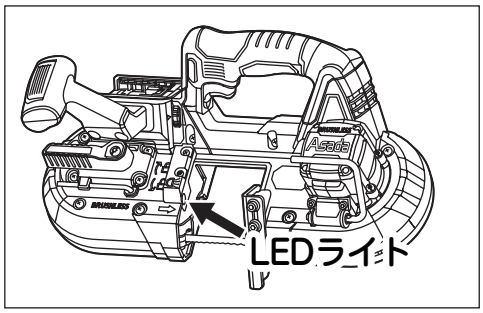
③ 2 カ所のねじをしっかりと締め付け、Ｌ型六角棒レンチを元の場所に戻します。



＜LED ライトの機能説明＞

① 暗所での正確な切断を行うため、無段変速トリガースイッチを軽く引くと自動的に点灯し、スイッチを離すと約 10 秒後に自動的に消灯します。

② この LED ライトは、モータやバッテリが過負荷になったり、熱くなりすぎると LED ライトが高速に点滅し、内部センサの保護回路によって自動的に停止させます。
停止したら、そのまま放置して冷却させるか、風通しの良い場所で冷却させます。

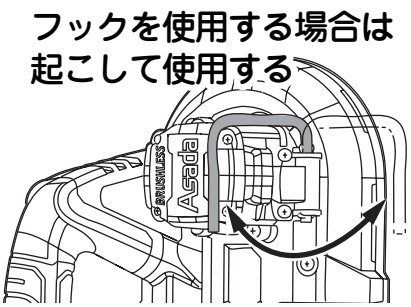


③ バッテリの容量が低下した状態でトリガースイッチを引くと、モータが回転せずに LED がゆっくりと点滅するので、バッテリを充電するか充電済みのバッテリと交換します。

＜フックの使用＞

① フックを使用する場合は、カチッと音がするまでフックを開いて使用します。使用しない時は、フックを閉じておきます。

② フックを使用して、脚立や梁等の丈夫な場所に引っ掛けておくことが可能です。脚立を使用して上がる際に、脚立にあらかじめフックを使用して引っ掛けておくことで、両手での脚立の上がり下がり作業がラクになります。



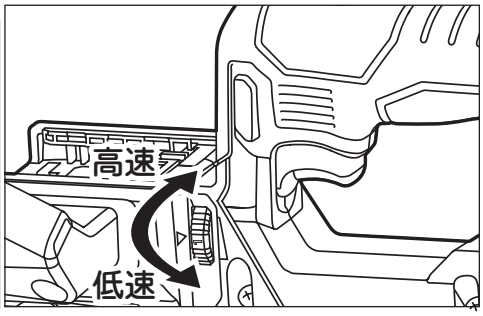
⚠ 警 告

◆ 本機をフックで吊り下げた状態で、引っ掛けた対象物で本機を移動させないこと。
また、吊り下げる際は、対象物が安全な構造であることを確認する事。
◆ フックは、本機吊り下げること以外、絶対に使用しないこと。
ケガや重大な事故の原因となります。

＜スピコン（6 段階）の使用方法＞

① スピコンのダイヤルを回すことによって、のこ刃の回転速度を６段階に調整することができます。１番が最低速度で６番が最高速度になり、切断材料により１～６を（無段変速トリガースイッチを一杯に引いた時ののこ刃の周速）を選定します。（※作業環境やのこ刃の消耗具合によって適切な周速が異なります）

ダイヤル	のこ刃周速（目安）		用途
1 低速	86 m/min	1.4 m/s	ステンレス・合金鋼等の難切削材、丸棒・厚肉鋼管等の鋼材
2	100 m/min	1.7 m/s	
3	118 m/min	2.0 m/s	
4	154 m/min	2.6 m/s	
5	182 m/min	3.0 m/s	薄肉鋼管等の鋼管、電線ケーブル
6 高速	192 m/min	3.2 m/s	



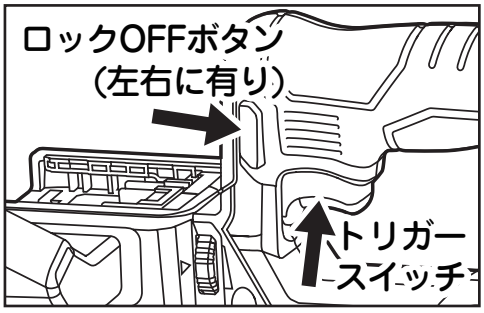
切断作業

＜スイッチの操作＞

① ロック OFF ボタンを押しながら、トリガースイッチをゆっくり引くと、のこ刃が回転を始めトリガースイッチを一杯引くと、各ダイヤル番号の最高速度になります。

② のこ刃が回転したら、ロック OFF ボタンから手を放します。

③ 止める場合は、トリガースイッチから手を離します。



＜切断方法＞

⚠ 警 告

◆ **切断中に本機を押さえすぎたり、のこ刃をこじったりしないでください。**
切断面が傾斜・のこ刃の刃欠け・折損を生じ、けがの原因になります。

◆ **作業直後、のこ刃・材料・切粉は大変熱くなっていますので、触れないでください。やけどの原因になります。**

◆ **切断時に負荷が加わる場合には、材料を万力で固定して切断してください。**

◆ **切断するときは、材料をしっかり持ち、切断してください。**
切断時に材料を放してしまうと、事故やけがをする恐れがあります。

⚠ 注 意

◆ **熱軟化性のプラスチックは切断しないでください。**
切断時の熱により材料が溶けて、のこ刃が材料に食い込む場合があります。

◆ **連続して使用する際、保護カバー内に切粉がたまる場合があります。**
定期的に保護カバーを外して切粉を取除いてください。

◆ **使用後は、のこ刃のテンションを緩めてください。**
のこ刃にテンションがかかった状態のまま放置すると、のこ刃の寿命が短くなります。

◆ **長期間保管する場合は、のこ刃を取外してください。**
のこ刃にテンションがかかった状態で長期間保管すると、のこ刃が切れてしまうことがあります。

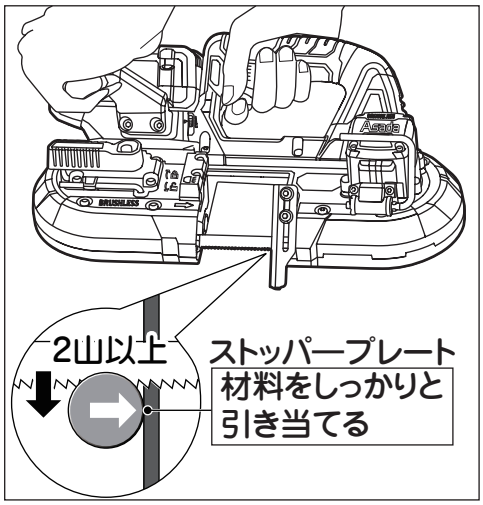
① 切断中に切断対象物が滑って動いたりしないよう、しっかりと材料を固定してください。

② 両手でしっかりとメインハンドルと補助ハンドルを持ちます。

③ 切断位置とのこ刃を合わせ、のこ刃が当たらない位置で、ストッパプレートを材料に当ててください。

④ 材料に対して２山以上の歯がかかるような方向を選定してください。

⑤ ロック OFF ボタンを押しながら、トリガースイッチを引くと始動します。



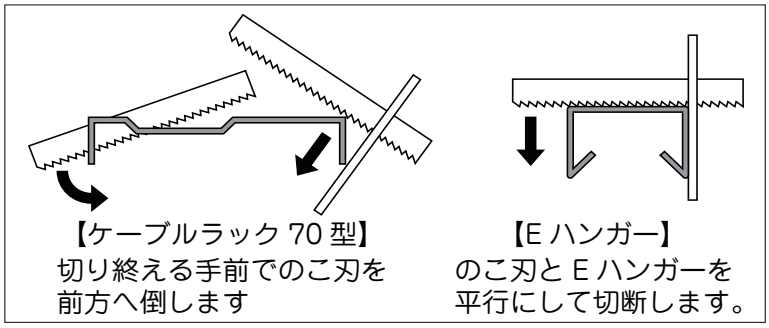
⑥ 始動したら、ロック OFF ボタンを放してください。

⑦ 回転が安定したら、のこ刃に衝撃がかからないように、ゆっくりと材料に近づけ、切り込んでください。
※ 切断は、本機の自重か、軽く押し付ける程度で行ってください。
※ 切断中、のこ刃が材料に挟まれたりしてロックした場合は、直ちにトリガースイッチを離して本機を停止させてください。
※ 切断側の材料が重いときは、切断後の落下によってケガする可能性があるため、落下しないようにサポートが必要です。
※ 本機は、ドライ状態で使用するバンドソーです。のこ刃には、絶対に潤滑油や切削水を使用しないでください。　また、のこ刃に油等が付着している場合は、ウエス等で完全に拭き取ってください。

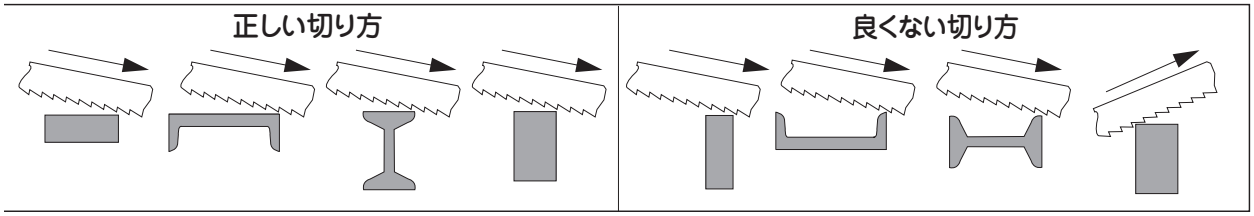
⚠ 注 意

◆ **切断中は、しっかりとストッパープレートに材料を引き当ててください。**
ストッパープレートと材料の間にすき間があると、のこ刃や材料が暴れて刃が欠ける等の異常が発生して切断時間が延びたり、のこ刃の折損が早まります。

＜材料の違いによる上手な切断方法＞



＜正しい切り方と良くない切り方の例＞



＜のこ刃の寿命＞

・のこ刃の寿命は約４０分です。のこ刃は、切断しても空運転させても回転させると、４０～４５分で折損します。
・のこ刃の折損は、溶接部だけでなく、その他のところでも発生します。
・のこ刃の折損時には、刃先に欠けなどが発生していないことがありますが、のこ刃材料自体の不良ではありません。　金属疲労（疲労破壊）による折損です。

保守・点検

LED ライトおよび保護機能

● **LED ライトは、トリガースイッチを軽く引くと切断箇所を約 10 秒点灯して自動消灯しますので、切断位置を確認するような場合に使用します。　また、のこ刃を切断材料に当てる際の照明にもなります。**

● **本機および、バッテリが過負荷になったり高温になると、LED ライトが高速点滅して内部センサがモータを自動停止させます。**
・使用を中断して本機からバッテリを取外し、本機とバッテリの両方を冷ましてください。

● **バッテリの容量が低下すると LED ライトが低速点滅してモータが自動停止します。**
・充分に充電されたバッテリと交換してください。

● **トリガースイッチを引いた状態（電源 ON の状態）でバッテリを挿入すると、LED ライトが低速点滅して起動しなくなります。**
・起動させる場合は、トリガースイッチを離し（電源が OFF の状態）でバッテリを再度挿入し直してください。

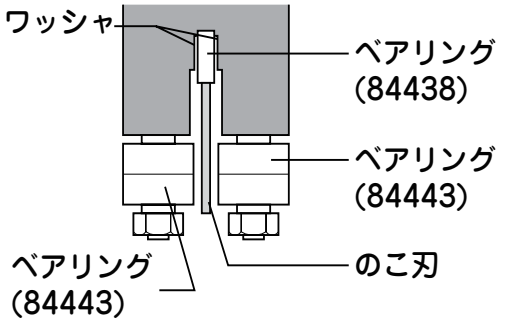
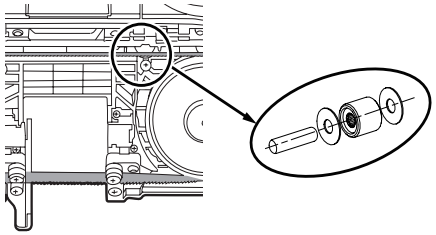
日常点検

●差込みプラグ・コードの損傷はないか確認してください。
●損傷がある場合は交換してください。

●のこ刃の刃欠け、損傷はないか確認してください。
●刃欠けの場合交換してください。
※のこ刃の交換方法は、「のこ刃の取付け・取外し（P.11）」を参照してください。

●各部取付けネジで緩んでいる場所がないか、定期的に点検してください。
●もし緩んでいる所がありましたら、締め直してください。
※緩んだままお使いになりますと危険です。

●清掃
※ときどき全体についている切粉やゴミを布などで拭き取ってください。
※モータ部は水や油等で濡らさないようにしてください。

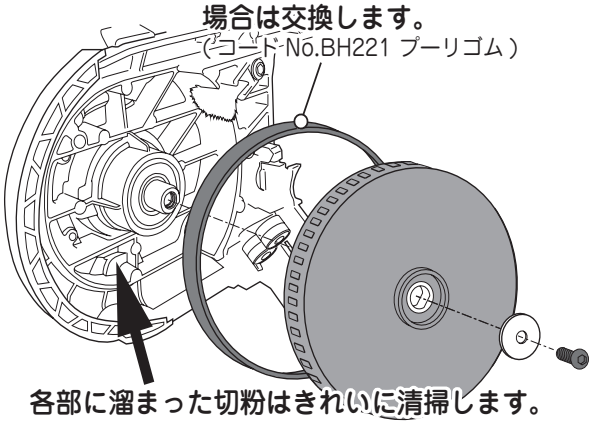
●ガイドブロック組の、のこ刃押さえのボールベアリングおよび、背押さえボールベアリングを点検してください。 ●正しくセットされていないと、切断精度が悪くなる原因となります。 ●ボールベアリングが磨耗しているときは、早めに部品交換してください。 ベアリング以外の場所の損傷、摩耗等が見られる場合は、ガイドブロック組(コードNo. BH236)一式を交換してください。 ●ガイドブロック組を一式で交換する場合は、左右同時に交換してください。	コードNo. BH236　ガイドブロック組 
●フレームに組み立てられているのこ刃背押さえ用クランク・ローラを点検し、 異常がみられる時は早めに部品交換してください。 ●部品を交換する場合には、クランクローラ組(コードNo.BH239)を注文して一式で交換してください。	コードNo. BH239　クランクローラ組 

プーリゴムの交換

＜プーリゴムの清掃＞

①のこ刃を取付ける前は、必ずプーリゴムを清掃します。
②フレームにも切粉が付着している場合は、必要に応じプーリを取り外して清掃します。
③プーリゴム表面に付着した切粉が取れない場合や、摩耗・損傷が激しい場合にはプーリゴムを交換します。

※ プーリゴムが摩耗・損傷していると、のこ刃のすべりが発生して、切断できなくなる場合があります。



④プーリが破損した場合は、駆動側（モータ側）従動側（テンションハンドル側）で部品が異なりますので間違いがないように入手します。
（BH246　駆動プーリ　　BH220　従動プーリ）
⑤プーリゴムは、駆動側（モータ側）従動側（テンションハンドル側）共に共通です。
（BH221　プーリゴム）
●プーリにプーリゴムを取付ける時は、プーリゴムの凸部をプーリの凹部に完全に合わせるように取付けます。

修理・サービスを依頼される前に

● 修理・サービスを依頼される前に下記の故障診断に従って点検してください。

症状
●本機が停止してしまう
●本機が始動しない
●モータが動かない

原因
保護機能が働き、本機または、バッテリの機能が停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、バッテリを再挿入してから再度スイッチ入れてください。

↓ 解消しない

バッテリを充電するか、充電済みのバッテリと交換してください。

↓ 解消しない

バッテリと本機を十分に冷やす。

↓ 解消しない

それでも解決しない場合は、弊社またはお買い上げの販売店にご相談ください。

（バッテリの保護機能と LED の関係は P16 を参照してください。）

現　象	原　因	対　策
斜め切断	切断時に押し付けすぎ。	切断は、自重か軽く押し付ける程度で切断してください。
	のこ刃のセットが悪い。	のこ刃をのこ刃ガイドのベアリングに正しくセットしてください。
	のこ刃の摩耗。	のこ刃を交換してください。
	のこ刃ガイド部、ベアリングの摩耗。	ベアリングの交換（交換は左右同時に行ってください。）
	テンションハンドルのセット不良。	テンションハンドルを締める方向へ正しくセットしてください。
	純正品以外ののこ刃を使用。	純正品ののこ刃を使用してください。
切断時間が長い	のこ刃の摩耗。	のこ刃を交換してください。
	バッテリ切れ。	バッテリを充電してください。
刃欠け	切断時に押し付けすぎ。	切断は、自重か軽く押し付ける程度で切断しください。
	のこ刃を衝撃的に被切断材料に当てた。	ゆっくり近づけ静かに切断を開始してください。
のこ刃外れ	のこ刃のセットが悪い	のこ刃をのこ刃ガイドのベアリングに正しくセットしてください。
	のこ刃・プーリゴム・被切断材・のこ刃ガイドおよびベアリング部に油が付着している。	油等を拭き取ってください。
	プーリゴムに切粉が付着している。	プーリゴムを清掃してください。
	プーリゴムが摩耗している。	プーリゴムを交換してください。
モータが始動しない	バッテリ切れ。	バッテリを充電してください。
	バッテリが外れている。	バッテリを正しく取り付けてください。
	バッテリの温度が高い。	バッテリを冷やしてから使用してください。

●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号　：
購入年月日:　　年　　月　　日
お買い求めの販売店

Asada アサダ株式会社

本　社／名古屋市北区上飯田西町3-60　TEL (052) 911-7165　E-mail：sales@asada.co.jp

製品の使用方法に関するお問合せは
0120-114510（イイシゴト）
（受付時間）9:00-12:00／13:00-17:00（土・日・祝日は除く）

支　店／東京・名古屋・大阪
営業所／札幌・仙台・さいたま・横浜
広島・福岡

海外事業所
アサダ・タイランド社　（バンコク）
台湾浅田股份有限公司　（台　北）
アサダ・ベトナム社　（ホーチミン）
アサダ・インド社　（ムンバイ）
上海浅田進出口有限公司　（上　海）
アサダ USA　（オレゴン州・ユージン）

工　場
犬山工場　（愛知県・犬山市）
アサダ第一精工株式会社　（松阪市）
アサダ・マシナリー社　（バンコク）

www.asada.co.jp

Ver.05　コード No. IM0635　CH